

強くしなやかな  
JR産業を築くために  
組織と運動を磨き、責任ある活動を  
全力で推し進めよう!



# JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

**日本鉄道労働組合連合会**  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階  
TEL (NTT) 03-3270-4590  
FAX (NTT) 03-3270-4429  
1部20円(但し組合費を含む)  
●発行/ 荻山市朗 ●編集/ 宮野勇馬

facebook  
JR連合

(旧 twitter)  
JR連合

## 2024年度役員任務分担を決定

第34回定期大会以降に開催した執行委員会(第1回:6月18日、第2回:7月29日、第3回:8月29日)において、下表のとおり三役・執行委員の任務分担を決定するとともに、特別執行委員の指定を行った。

また、単組大会における役員改選により一部役員を補充する必要が生じたことから、第2回・第3回執行委員会において承認した。

役職名	氏名	任務分担
会長	荻山 市朗	総括・JR私傷病共済運営委員会委員長
副会長	人見 圭一	産業政策委員会副委員長
	小林 徹志	JR連合ビジョン推進委員会副委員長
	尾内 裕昭	労働政策委員会委員長、組織・財政検討委員会委員長
	上村 良成	産業政策委員会委員長、政治対策委員会委員長
	大谷 清	男女平等参画推進委員会委員長
	吉田 祥司	安全対策委員会委員長
	辻村 和裕	組織・財政検討委員会副委員長
事務局長	政所 大祐	事務局総括、総務財政局長・福祉対策局長兼務、JR私傷病共済運営委員会事務局長、退職者連絡会担当
執行委員	宮野 勇馬	企画局長、広報局長、ボランティア担当、総務財政担当、JR私傷病共済担当、JR健保担当
	相良 夏樹	組織局長、政治局長、男女平等参画推進担当、青年・女性委員会担当(主査)、自動車連絡会担当(副主査)
	石川 敏也	産業政策局長、安全担当、自動車連絡会担当(主査)
	住吉 一家	労働政策局長、教育局長、国際局長、グループ労組担当、医療連絡会担当、青年・女性委員会担当(副主査)
	今井 孝治	安全対策委員会副委員長
	羽野 敦之	労働政策委員会副委員長
	吉田 春菜	男女平等参画推進委員会副委員長
会計監査員	宮崎 勝典	
	福本 英治	
特別執行委員	奥村 敬弥	グループ労組連絡会代表幹事
	李澤 亮汰	青年・女性委員会議長
	坂上 拓也	青年・女性委員会事務長
	慶島 譲治	中央交運労協派遣(事務局長)
	中山 耕介	連合本部派遣(組織企画局長)
	本田 雅明	こくみん共済coop派遣(交運共済専務理事)

## 2024年の活動を開始 職場からの安全確立・政策課題の解決・前進を図る 運動方針に基づく具体的な取り組みを確認

JR連合は、7月24日より各種委員会を開催し、第34回定期大会で確認された運動方針に基づき、具体的な取り組みをスタートさせることを確認した。各会議に出席した各委員は、各単組の現状と課題について積極的に討議を行い、各種課題の解決に向け、各単組の事例を参考にしつつ、JR連合と連携して取り組みを確認した。

第1回安全対策委員会(7月24日)  
各単組からWEB参加を含む9人の委員とグループ労組から3人のオブザーバー参加のもと、重大労災や危険な事象が未だ多く発生していることを真摯に受け止めて、事故の原因について共有し、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」をテーマに引き続き取り組むことを確認した。

第1回労働政策委員会(7月24日)  
福知山線列車事故を忘れず悲劇を絶対に繰り返さない、という強い決意のもと、すべての職場における安全確立に向けて取り組む認識を共有するとともに、安全衛生委員会活動を充実強化させる方針を確認した。

また、10月4日に京都において開催する第13回安全対策委員会(7月24日)  
シンポジウムについて、テーマを「原点に立ち返り、業務・労働環境の実情・変化に即した仕組みを構築する」とし、基調講演として関西大学の安部誠治名誉教授と大原記念労働科学研究所の松田文子特別研究員をお招きし、基調講演を頂くことや、単組の取り組み報告、パネルディスカッションを行うことなどについて、確認した。



第1回安全対策委員会



第1回労働政策委員会

第1回労働政策委員会(7月24日)  
各単組からWEB参加を含む9人の委員と、グループ労組から3人のオブザーバー参加のもと、当面する2025年春季生活闘争方針の検討や、建設業における2024年問題への対応、新たに策定した「中期労働政策ビジョン2024-2028」で掲げる労働条件の実現に向けた労働協約改訂の取り組み等について討議を行った。特に、2025年春季生活闘争に向けて、社会水準を意識して引き続き取り組むことや、産別方針を一層浸透させること、妥結時期の早期化に対応することなどを確認した。

また、引き続き賃金実態調査を「JR7単組」「グループ労組」「自動車連絡会」を対象にそれぞれ実施し、賃金目標や世間水準等との比較・検証を行うことを確認した。

さらに、安全指針・重大労災防止の行動指針等の活用と見直しも進めていくことを確認した。

第1回青年女性役員研修会(8月22日)  
各単組からWEB参加を含めた担当者11人の参加のもと、本年度の教育・広報活動の取り組み方針について議論を行った。

「第23回青年女性役員研修会」を1月中旬に、東京エリアにて集合形式で開催することを確認した。前年度は電力総連と連携して開催し、大変好評であったため、今年度も他産別と連携して取り組みを行うことが確認された。

さらに、連合が実施する「2024年度労働条件関係調査等」を全単組で実施することや、これまで作成してきた労働条件比較表の更新を行うことについても確認した。

「JR連合ビジョン」推進委員会(8月20日)  
各単組から拡大メンバーを含む委員14人の参加のもと、「JR連合ビジョン」の浸透と実践に向けた議論を行った。

今回は、各単組の組織担当者を含めた拡大形式で実施し、最近の労働情勢について共有を図るとともに、政策・組織の戦略的展開についての議論を深めた。

具体的には、民主化当該単組においては、引き続き組織拡大に向けた取り組みを積極的に進めていくことを確認した。

「交通共済」  
第129回通常総代会開催  
交通共済の第129回通常総代会が7月30日に都内に、100人近い総代の参加のもと、開催された。

冒頭、荻山市朗理事長(JR連合会長)から、こくみん共済coopへの契約移転について、組合員各位の奮闘に改めて感謝の辞が述べられた。

理事側からの事業報告に

対し、JR連合を代表して宮崎勝典総代(JR連合会計監査)から、制度変更等で発生している課題について引き続き真摯に対応するよう要請する発言を行った。

その後、定款や規約等の一部改正に関する議案が提起され、すべての議案が提案どおり承認された。

総代会の中で、交通共済の総合共済が2005年4月に制度改定されることが確認された。すでに総合共済に加入している組合員については、月額千円の「JR連合総合共済」に無告知無審査で切り替えが行われるが、一部の給付項目や共済金額が変更される。

JR連合として、周知を引き続き行っていくとともに、新入組合員やグループ労組を含めた全員加入を引き続き積極的に進めていくこととする。組合員各位の引き続きの協力を要請する。



「JR連合ビジョン」推進委員会(拡大)



教育・広報担当者会議

## 連合HPにカスハラに関するJR連合の取組みが掲載

2023年5月に開設された連合の新サイト「RENGO ONLINE(連合オンライン)」の特集記事として、JR連合のカスハラに関する取り組みが掲載された。

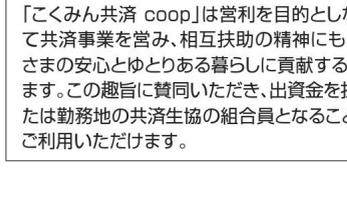
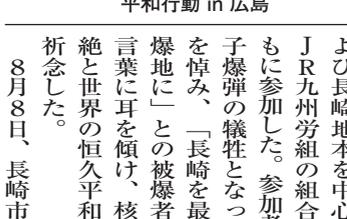
本年5月以降、JRグループ各社においてカスハラに対する基本方針が発表されているが、策定に至るまでの単組における取り組みや今後の課題などについて取材され、記事化されたものである。

JR連合は、本年4月、厚生労働省「雇用の分野における女性活躍推進に関する検討会」において、JR産業におけるカスタマーハラスメントの実態についてのヒアリングを受けた。そこで主張した内容は厚生労働省ホームページに掲載され、マスコミ等で取り上げられている。

JR連合は、JR産業に集う全ての労働者の働きがいを高めるため、カスハラ根絶に向け、加盟単組と連携し、引き続き取り組む。

利用者の「カスハラ」にNO!  
労働者の声を踏まえ「基本方針」策定  
[https://www.jtuc-rengo.or.jp/rengo\\_online/2024/06/20/3404/](https://www.jtuc-rengo.or.jp/rengo_online/2024/06/20/3404/)





# 連合2024平和行動 働く仲間とともに 世界平和の実現に向けて



平和行動 in 沖縄

◆ 平和行動 in 沖縄  
79年前の沖縄戦の犠牲者を悼む「慰霊の日」である6月23日、連合は那覇市内において、2024平和行動 in 沖縄「平和オキナワ集会」を開催した。「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに掲げた同集会には、JR連合からはJR四国労組組合員とともに5名が参加した。

集会の第一部では、沖縄国際大学経済学部・前泊博盛教授から「再考・日米地位協定」と題した基調講演が行われた。

◆ 平和行動 in 広島  
連合は、8月5日から6日にかけて「2024平和行動 in 広島」を広島市内で開催し、JR連合からJR西労組、JR九州労組、貨物鉄道労の仲間約30名が参加した。

◆ 平和行動 in 長崎  
JR連合は、8月8日、9日の2日間、連合「2024平和行動 in 長崎」の取り組みとして、長崎市内各地で開催された集会や慰霊式等にJR東海ユニオンおよび長崎地本を中心とするJR九州労組の組合員とともに参加した。

◆ 平和行動 in 長崎  
JR連合は、連合の平和行動に連帯・参画し、世界平和の実現に向けて取り組んでいく。

◆ 平和行動 in 長崎  
「核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現」に向けて力を結集しよう！と力強く発信した。最後に、「平和を願うすべての仲間の力を結集し、粘り強く運動を展開していく」としたヒロシマからの平和アピールを全体で確認した。

◆ 平和行動 in 長崎  
開催された、連合「2024平和行動 in 長崎」では、長崎県知事、長崎市長らから挨拶を受けるとともに、被爆者から当時の凄惨な状況について講演を受け、原爆の非人道性を学んだ。

◆ 平和行動 in 長崎  
JR西日本連合には1998年よりオブザーバー加盟し、2023年から本加盟いたしました。引き続き、グループ会社を利用する取り組みを大切に、組合活動の原点である「助け合い」の精神を発揮してまいります。

◆ 平和行動 in 長崎  
JR西日本連合には1998年よりオブザーバー加盟し、2023年から本加盟いたしました。引き続き、グループ会社を利用する取り組みを大切に、組合活動の原点である「助け合い」の精神を発揮してまいります。

◆ 平和行動 in 長崎  
JR西日本連合には1998年よりオブザーバー加盟し、2023年から本加盟いたしました。引き続き、グループ会社を利用する取り組みを大切に、組合活動の原点である「助け合い」の精神を発揮してまいります。



東海地協第33回定期委員会

冒頭、挨拶に立った鎌田隆司議長（JR東海ユニオン中央執行委員長）は、まず、開催当日に発生した豊橋駅〜三河安城駅間に於ける保守用車両の衝突事故に

触れ、安全確保の重要性について参加者とともに改めて認識を深めた。続いて、能登半島地震に対する救援カンパやボランティアなどへの参加に感謝を述べた。また、コロナ禍で激変した取り巻く環境について、労働組合も変革を求められているとして、地域公共交通などの産業政策課題や組織強化・拡大、労働条件向上の取り組みについて、引き続き取り組んでいく決意を述べた。

◆ 平和行動 in 長崎  
JR連合は、連合の平和行動に連帯・参画し、世界平和の実現に向けて取り組んでいく。

# 東海地方協議会第33回定期委員会 環境の変化にあわせて 地協活動も変革を

冒頭、挨拶に立った鎌田隆司議長（JR東海ユニオン中央執行委員長）は、まず、開催当日に発生した豊橋駅〜三河安城駅間に於ける保守用車両の衝突事故に

触れ、安全確保の重要性について参加者とともに改めて認識を深めた。続いて、能登半島地震に対する救援カンパやボランティアなどへの参加に感謝を述べた。また、コロナ禍で激変した取り巻く環境について、労働組合も変革を求められているとして、地域公共交通などの産業政策課題や組織強化・拡大、労働条件向上の取り組みについて、引き続き取り組んでいく決意を述べた。

◆ 平和行動 in 長崎  
JR連合は、連合の平和行動に連帯・参画し、世界平和の実現に向けて取り組んでいく。

こくみん共済coop NEWS  
「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済coopは、  
次のステージへ  
公式キャラクター  
ピットくん  
たすけあいの輪をむすぶ  
こくみん共済〈全労済〉  
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop  
「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

大鉄工業労働組合  
大鉄工業労働組合は昭和22年10月に結成(当時は大阪鉄道工業労働組合)、ユニオンショップ制を採用し、執行部10名、支部役員各支部3名(11支部)、組合員約1,000名の組織です。今年度は「踏み出そうその一歩 変えていこう 未来のために!」をスローガンに運動・活動を展開しております。  
会社は関西エリア全域と名古屋、北陸、四国に事業所があり、JR西日本グループの総合建設会社として線路・土木・建築部門が三位一体となり社会インフラの維持修繕・整備を行っています。  
JR西日本連合には1998年よりオブザーバー加盟し、2023年から本加盟いたしました。引き続き、グループ会社を利用する取り組みを大切に、組合活動の原点である「助け合い」の精神を発揮してまいります。  
コロナ禍により、一時は組合活動にも制限がありましたが、昨年4年ぶりに労使共催運動会を開催できました。社員やご家族の皆さんが楽しそうに競技に参加されている姿を見て、組合活動を継続してきて良かったと改めて実感しました。今後も組合員の方に喜んでもらえるようなレクリエーションを企画運営していきたいと思っております。

JR連合  
ふれあいキャンペーン  
グループ労組めぐり  
~全国の仲間を  
応援しよう~  
2024春闘では、数年来要望していた定期昇給の上限年齢を50歳未満から満59歳未満まで引き上げることができ、組合員だけではなく非組合員のモチベーション向上にも繋がったと思います。  
今後も組合員が「働きがい」「生きがい」を実感でき、楽しく仕事を進めることができるよう労働条件の向上・改善や、新たな施策・取組みを進めてまいります。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。  
大鉄工業労働組合 第75回定期大会